

方 法 市 長 意 見 書

2027年国際園芸博覧会に係る環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）に関する横浜市環境影響評価条例第21条第1項に規定する環境の保全の見地からの意見は、次のとおりです。

横浜市長 山中 竹春

環境影響評価の実施に当たっては、事業の内容及び地域の特性を考慮し、方法書に記載された事項に加え、次に示す事項に留意してください。

1 事業計画

- (1) 方法書提出後に基本計画案を公表し、今後基本計画を取りまとめる予定であることから、準備書には最新の会場配置計画等を示すとともに、駐車場の形状や土地被覆の性状など具体的な整備内容を示してください。
- (2) 本事業における整備に当たっては旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業と（仮称）旧上瀬谷通信施設公園整備事業（以下「公園整備事業」という。）が密接に関連することから、それらの事業と整合を図り、各事業の整備内容や博覧会の開催後に撤去する施設と公園整備事業に継承する施設が何かを具体的に分かりやすく準備書に記載してください。
- (3) 交通分担率やシャトルバス発着駅、パークアンドライド駐車場の場所、関係車両の走行経路、方向別交通量など、輸送計画の詳細を準備書に記載してください。
- (4) SDGs 目標期間内の開催でもあり、環境への取組を国内外へ発信する場ともなることから、国産材の活用や ZEB 認証、ZEB-Ready 認証取得などの取組も検討し、より一層の環境配慮に努めてください。

なお、目標としている電力を 100%再生可能エネルギーとする具体的な内容を準備書に記載してください。

2 環境影響評価項目

- (1) 開催中

ア 温室効果ガス

灌水や散水に多くの水を使用することから、水の使用に伴う温室効果ガス排出量について算定するとともに、積極的な雨水利用に努めてください。

イ 生物多様性

北東に大規模な駐車場を造る計画であることから、動物、植物、生態系に及ぼす影響を予測、評価する際は、駐車場の形状や土地被覆の性状を踏まえてください。

ウ 水循環

北東の大規模な駐車場区域が堀谷戸川上流部の集水域に位置し、駐車場の土地被覆の変化による河川の流量への影響が想定されることから、環境影響評価項目として選定してください。

エ 地域社会

(ア) パークアンドライドは交通集中の回避に寄与する一方、パークアンドライド駐車場周辺における交通混雑の発生が懸念されることから、交通分担率等を踏まえた上で、周辺の交通混雑について調査、予測、評価してください。

(イ) 鉄道からシャトルバスへの乗換えを行う結節点では、輸送力の違いによる来場者の滞留が想定されることから、周辺住民等の駅利用への影響について準備書に記載してください。

(ウ) 来場者がバスターミナルから環状4号線を横断する方法及び会場区域内を縦断する区域内道路1号を横断する方法について、準備書に記載してください。

なお、横断方法が平面の場合には歩行者の安全上の配慮について検討するとともに、交通混雑等の予測、評価においても考慮してください。

(エ) 博覧会の開催期間中は、対象事業実施区域周辺の道路において信号設定等の交通制御に大きな変更が想定されることから、それらを考慮して予測、評価してください。

オ 景観

相沢川の保全対象種の生息環境や北東の駐車場区域が把握できる調査地点を追加し、市民の森だけでなくその他の樹林や農地等を構成要素とする景観の変化について予測、評価してください。